

茨城県水戸市立常磐小学校 (学校長 高堀 正伸)

実施日	平成19年11月1日(木)	時間	午前9時30分～午後13時
実施場所	5年生教室, 多目的ルーム	対象/人数	5年生93名
担当教諭	根本 律子	ファシリテーター	大谷美佐子
講師	ジョナサン・マイケルズ(アメリカ 県国際交流員) ウォン・ワイ・メン・ポリー(香港・留学生) チュン・ゴク・キュン・アン(ベトナム・留学生) ラビンダラ・ジャヤセカラ(スリランカ・留学生) ジョン・ミン(韓国・留学生) コウ・テイ(中国・留学生)		

活動内容

アメリカ・香港・ベトナム・スリランカ・韓国・中国の紹介(言語・文化・生活など)と質問
 米食を中心とした食文化についてのお話
 英語を使っのフリースーク
 児童のお礼(全員合唱)

児童の感想

・米を主食にしている国はとても多い事が分かった。特に韓国では「感謝して食べて、一粒も残さない」ということから米はとてもありがたいもので、とても大切にされていることが分かった。ほくも、これからはご飯を残さないようにしたい。
 ・ライスペーパーを見て食べて、こんなものもできるなんて米は役に立つすごいものだと思った。
 ・各国の国旗の意味を聞いて赤は戦争で亡くなった人の血を表しているなんて衝撃的だった。韓国の白は平和を表し、他から侵略されても自分から侵略したことはないということを知り、私は自分がいけなくてけんかになったことがあるので反省した。ベトナムの黄色の星は希望を表すので、すてきな国旗だと思い、私も希望をもって前向きに生きたいと思った。
 ・6人の先生がとても詳しく説明してくれたので、いろいろな国に行った気分になって楽しかった。

先生の感想

・子どもたちが事前にインタ-ネット等でそれぞれの国を調べて臨んだため、興味・関心をもって講師の話に耳を傾け、積極的に質問することができた。総合的な学習の時間のテーマと関連づけ「米を中心とした食文化」に話題を焦点化したことも内容の深い話を聞いたことにつながったと思う。また、各国の国旗の意味を聞いたことは、「国旗に意味があるなんて知らなかった」という

児童さえおり、印象的だったようだ。振り返ってみると「日本の国旗の意味は・・・」児童に説明した記憶がない。講師の先生やファシリテーターの方が質問事項に対して誠意をもって答えてくれたり、いろいろな物を用意してくださったりしたことにも感謝申し上げたい。

成果と課題

・学校の水田での米づくりとバケツ稲作りをしながら米を中心とした一人一人の課題解決に取り組んできた児童にとって、「世界」という広い枠組みの中で「米」について考えることができたことは、新たな多くの発見があった。このワールドキャラバンを総合学習のまとめの段階に位置付けたことは、課題解決と新たな次の課題へのステップという意味で重要なものとなった。
 ・偏見をもたずみずみずしい感性をもった子どもたちに、世界の国々の様々な様子を見せたり聞かせたりすることが、国際理解への第一歩だと思う。「いろいろな話を聞いて、日本と同じだったり違っていたりして、世界って広いんだなあと思った。」と作文に書いているように受け入れる気持ちを大切にしていきたい。これからは、国際理解をテーマに課題設定をし、自分たちにできることは何かについて考えながら総合学習を展開したいと思っている。

